



広島出身の女優・綾瀬はるかが被爆者らを訪ねて聞いた戦争の記憶

『綾瀬はるか「戦争」を聞く』
TBSテレビ『NEWS23』取材班／編
岩波書店



アンネ・フランクの足跡を追う旅を通して、平和の意味を考える。

『アンネ・フランクに会いに行く』
谷口 長世／著
岩波書店



独裁政権に抗した文学者の詩と、その息子の絵による戦争の絵本

『戦争は、』
ジョゼ・ジョルジェ・レトリア／文
アンдре・レトリア／絵
木下 真穂／訳
岩波書店



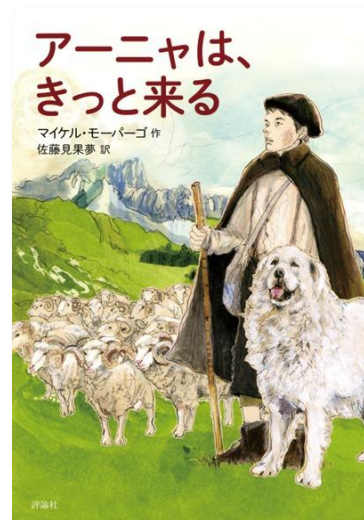
外交官や国連職員でなくても 世界を平和にする活動ができる。

『僕の仕事は、世界を平和にすること。』
川崎 哲／著
旬報社



「人影の石」の残った理由と経緯をひもとく、事実に基づいた物語。

『しずくと祈り「人影の石」の真実』
朽木 祥／作
小学館



第二次世界大戦下のフランス山間部の村。村人全員を巻き込んだ大騒動の逃亡劇の行方は…。

『アーニャは、きっと来る』
マイケル・モーパーゴ／作
佐藤 見果夢／訳
評論社



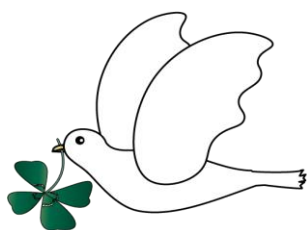
なぜ、美しいシリアはがれきの都市になってしまったのか。

『わたしは13歳、シリア難民。
故郷が戦場になった子どもたち』
国境なき子どもたち／編著
合同出版



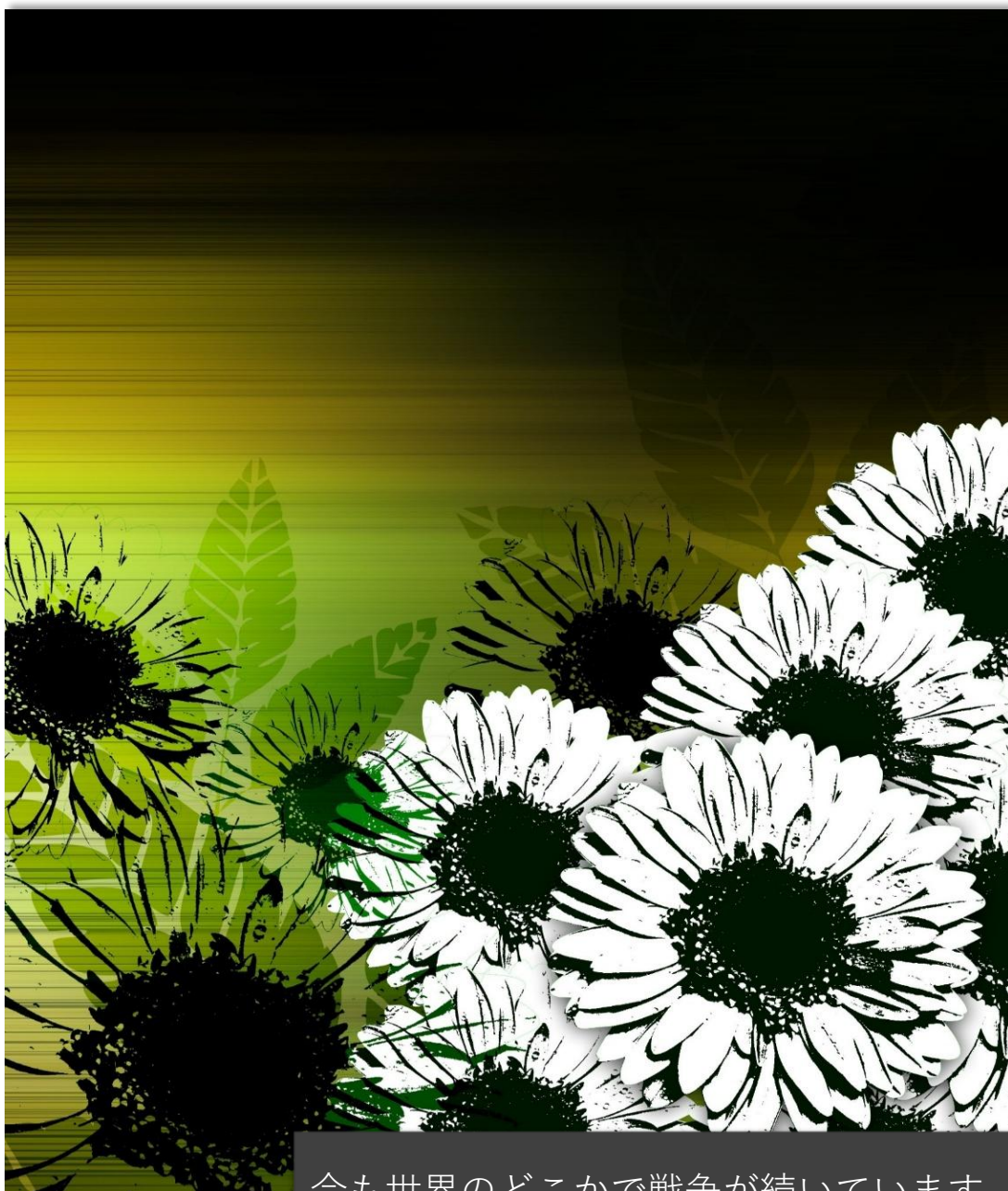
敗戦後2度目の夏。帰ってきた父は、
以前の物静かな父ではなくなっていた。

『灰とダイヤモンド』
東 曜太郎／作
岩崎書店



島根県立図書館子ども室

この夏、戦争を知る 平和を知る



今も世界のどこかで戦争が続いています
未来の平和のために
まずは知ることからはじめてみませんか

国内外の戦争・紛争に関する本
そして平和のための本を集めました

2026年8・9月 ジュニアコーナー展示